

みんなの大切な水

安武 結亜

小郡市立 東野小学校

水は、いろいろなところで活やくしています。料理や飲み水はもちろんのこと、体のろうはい物を血液で溶かして健康にしたり汗を流して体温を一定に保ったりする役割があります。つまり人間は、水がないと生きてはいけません。

ぼくは、社会科見学で宝満川浄化センターへ行き、下水道処理の仕組みについて学んできました。

下水道処理の仕組みは、家や学校でみんなが使った水が污水管を通って、浄化センターのちんさ池に流れていきます。ちんさ池では、污水管から流れてきた水をゆつくり流し、ごみや砂を取り除く役割をしています。取り除かれた水は、最初ちんでん池に流れていきます。ここでは、ちんさ池から流れてきた水をゆるやかにし、しみやすいどろをしませませす。さらに、微生物が汚れを食べてくれる反応タンクを通って、最後ちんでん池でもう一度どろをしませませす。これが終わると消毒設備に行きます。消毒したあと、だつ水設備を通り、そのあと、川や海へと流されます。

宝満川浄化センターでは、みんなが使った水を安全に川や海へ流すためにゴミや砂などがいねいに取り除いてさまざまな工夫をして、水の処理をしていることが分かりました。

見学を通して分かったことがまだまだあります。それは、下水道が大雨によるしん水を防ぐ働きをしているという事です。さらにポンプ

で汚い水を池まで流すということや雨水が水道水になるということも施設の人の話で初めて知りました。浄化センターで働いている人たちはすごいと思ったのでこれからも頑張つてほしいと思いました。

ぼくは、水を大切にするために取り組んでいることがあります。家ではお皿を洗っているときに水を止めて洗ったり、お風呂の残り水を洗濯機に入れて使ったりして節水をしています。学校では、手を洗うときに水を一回止めて先に石けんで洗い、その後水を流して洗っています。図工で使った絵の具道具や習字道具を洗うときは水を出しすぎないようにしています。トイレで水を何回も水を流さないように心がけています。

水の学習をして、水の大切さがよくわかったのでこれからももっと水を大切にできるように何ができるかを考えていきたいと思いました。今回は、下水処理の仕組みを学んだので、今度は、浄水場の仕組みについて、くわしく学びたいと思いました。